

働き方改革推進支援センターのサポートによる

働き方改革

グッドプラクティス2021

支援事例集

中小企業・小規模事業者等のみなさまの「働き方改革」に関連する様々なご相談に対応します！



株式会社鈴生ハウジング

(茨城県美浦村)

DATA

- 事業内容／不動産業
- 設立年／1989年
- 代表者／鈴木聡使社長
- 従業員数／6人
- 担当専門家／社会保険労務士・宮島利博氏

3つの戦略で改革推進 働きやすい職場で 業務も円滑化



仕事のやり方についていろいろな意見が出て
合理化が進んだ鈴生ハウジングの職場

働き方改革

グッドプラクティス2021

効率化・改善部門

相談内容

- ◆一時は支店開設までしたものの労働環境の不備から従業員の退職が相次いだ。働き方改革を進めて人員を確保・定着させ、撤退後空室のままだった支店再開が目標となった。
- ◆茨城県稲敷郡美浦村に所在し、激戦区の県南地区ではつくば市や土浦市の企業と比べて人材確保は圧倒的に不利だった。よい人材確保のために多様な人材、多様な働き方の推進が必須と考えた。

専門家からのアドバイス

- ◆①従業員から信頼される会社になる。②労働時間を短縮する。③有給休暇を気兼ねなく取得できる環境づくりの3つを働きやすい職場環境を実現するための戦略として打ち立てた。
- ◆①のために、知識不足からなされていなかった手続きを一つひとつ行った。従業員は会社のコンプライアンス意識の変化に気付いていった。
- ◆②のために1日のスケジュールの見える化に取り組み、ミーティングの大幅短縮に成功した。
- ◆③のために業務をマニュアル化して、誰もがすべての業務を行える体制を構築した。



社長
鈴木 聡使氏

働き方改革を進めるうちに従業員たちがいろいろな意見を気兼ねなく言ってくれるようになった。スタッフ同士でも会話が増え、業務が円滑に進むようになっている。

全員が担当以外の仕事もできるようになったので、休みが取りやすくなり、仕事のやり方についていろいろな意見が出て合理化が進んだ。



担当専門家
社会保険労務士
宮島 利博氏

働きやすい職場環境づくりを目指して打ち合せを進めるうちに、社長も含め会社のスタッフ全員が働きやすい職場づくりに積極的になった。そのための意見や気がついたことを気兼ねなく言い合い、その意見にみんなが真剣に耳を傾けるようになっていった。